

「カラフルな愛の共鳴 〜重なり合うハートのシンフォニー〜」

本作品は、「加法混色においては、白は赤・緑・青の3つの原色を混色してできる色である」という色彩に関する基礎知識をわかりやすく示した解説図を、ハートの形を用いて芸術風に仕立てたものである。本作品では、3つの原色で描かれたハートの位置を少しずらして作成されている。そのずらし方に工夫があり、両眼視差（両眼網膜像差）が付くように描かれている。すなわち、本作品はステレオグラムとなっている。ステレオスコープを用いるか、裸眼立体視（交差法・平行法）で両眼融合すると、ハートが3つの奥行きに分解して位置して見える。その場合、一番手前および中間の奥行きに見えるハートは透明に見える。そのほか、本作品のタイトルは、作品の画像をChatGPT (GPT-4o) に読み込ませ、「この画像にすてきなタイトルをつけてください」と指示したら提案してきたものを、そのまま採用したものである。

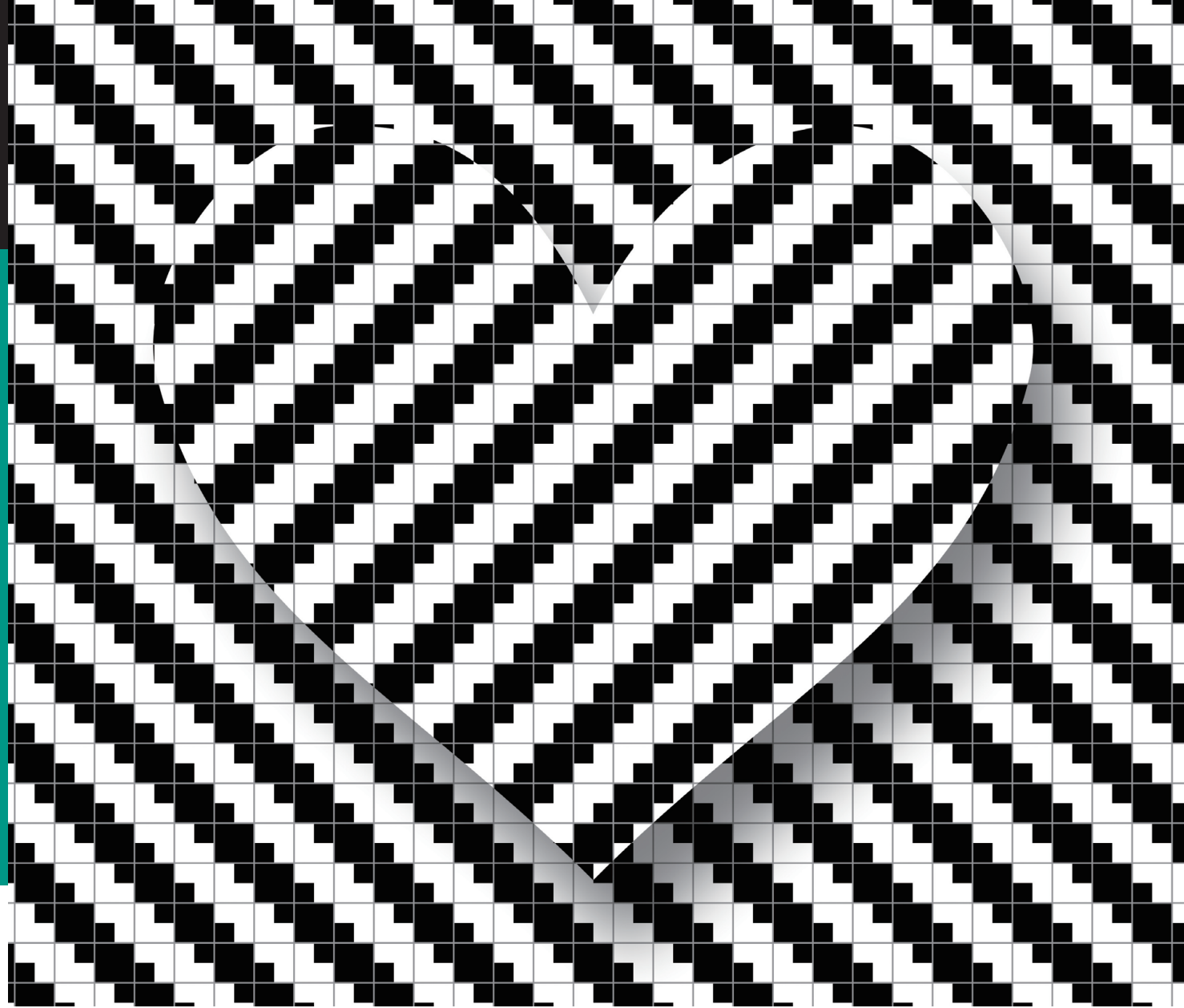
Copyright Akiyoshi Kitaoka 2026

※錯視は心理学における研究分野の一つです。

総合心理学部

College of Comprehensive Psychology





「人間」そのものを深く知り、 社会のさまざまな課題を解決する力を身に付ける

一般に「心理学」というと、個人の悩みを対象としたカウンセリングや性格分析などが主にイメージされます。しかし、それはごく一面にすぎません。心理学は、個人はもとより家庭、学校、企業、地域、国際社会など、さまざまな場で発生する「人間」そのものに起因した課題について、総合的かつ実践的にアプローチする学問です。

近年、グローバル化の進展、SNSの普及、AIやデータサイエンスの発展とともに、社会と個人とのつながり方が大きく変化しています。それに伴い、現代の複雑な課題を発見し解決するために、人間についての科学的・実践的知見を有した人材がますます必要となってきています。

総合心理学部では、基礎から応用に至る心理学の諸分野に加え、人類学、哲学、社会学、経済学など人間に関する隣接学問分野を総合的に学べる自由度の高い履修体系を整えています。学生は履修モデルに沿って自分の進路を考えながら、人間の心と行動、成長による心の発達の様相、そして心と社会・文化との関係についての専門的知見の形成と、臨床や産業の現場で発揮できる実践的応用力の修得を目指します。

卒業後の進路は、大学院進学、心理専門職をはじめ、行政や企業、そしてグローバル化する現代社会に貢献できるさまざまな職種を想定しています。

総合心理学部



総合心理学科

取得学位	学士(心理学)
アドミッション・ポリシー	総合心理学部では、本学部の人材育成目的と教育目標に共感し、本学部で学ぼうとする強い意志を持った学生を求めています。このため、入学時点において以下の学力、関心などを有することを求めます。 1 高等学校などの教育によって修得した基礎的な学力を有していること 特に、国語と外国語に関する知識、理解力や表現力を有していること 2 数学、社会、理科などの分野における知識や思考力を有していること 3 人間の心と行動、現代における人間の在り方についての問題に関心を有していること

STUDENT'S VOICE

多様な側面から人間の「こころ」を紐解き、心理学の知見を社会の恩恵につなげる。

中学生の頃に読んだ本がきっかけで心理学に興味を持ちました。特定の分野に限定せず、心理学全般を総合的に学びたいと考え、本学部を志望しました。現在は、精神疾患に関わる支援を扱う「福祉心理学」や、司法の場での意思決定を分析する「司法心理学」、さらに幅広い研究手法を習得する「心理調査法概論」などを履修しています。日々の学びを通じて最も身についたと感じているのは、心理学という「科学」に対する見方です。心理学に関係する多くの論文や研究手法に触れる中で、普段は見逃されがちな研究の過程や理論の背景まで深く掘り下げて知ることができます。これにより、心理学のみならず科学全般について、これまでよりも一段深い視点で捉えられるようになりました。

学部の自治会活動も、私にとって大きな成長の場でした。意見収集や意見交換、イベント運営に携わる中で、アンケートの適切な構成方法や書類作成、自分の意見を的確に伝える技術を修得しました。これらの経験は、正課の授業におけるアンケート作成や文章作成においても非常に役立っています。実践を通じて身につけた伝達力や整理する力は、学問としての心理学を深めていく上でも重要な基盤になると確信しています。

将来の目標は、心理学の知識をより社会に広め、人々の役に立てることです。心理学はカウンセラーのような臨床領域だけでなく、あらゆる分野で有用な知識を提供できる学問だと考えています。その知見を社会でどのように活かすべきかを考え、多くの人が学問の恩恵を享受できる仕組みを築いていきたいです。大学での学びを通じて心理学への理解をさらに深め、専門的な知識を武器に社会の課題解決に貢献できる人材を目指して努力を続けていきます。



総合心理学部 総合心理学科 3年生
栃木県立宇都宮高校出身

4年間の学び

総合心理学基礎科目で心理学および隣接領域を幅広く学んだ後に、自分の進路を考えながら履修モデルに沿って総合心理学専門科目を履修します。総合心理学専門科目では下位区分として「認知・行動」「発達・キャリア」「社会・文化」を設け、心理学の専門分野を系統的に学びます。また「ヒューマンデータサイエンス」「実践」「特殊講義」では自分の目的に応じて研究力と実践の応用力を身に付けていきます。

認知・行動

知覚心理学や認知心理学、行動分析学、認知行動療法をはじめとする領域の専門的知識を学修します。実験的な手法を用いて、特に量的なデータを扱った研究ができる学生を育成します。

ヒューマンデータサイエンス

統計法やデータ解析などのデータサイエンス関連科目に加え、心を測定するための方法を体系的に学修します。研究から社会の現場まで幅広くデータを扱うことができる学生を育成します。

発達・キャリア

人間の生涯発達や組織行動、行動経済学をはじめとする領域の専門的知識を学修します。高度な統計手法や行動観察法を用いて、質的、量的なデータを扱った研究ができる学生を育成します。

実践

アクティブラーニングを主体として、課題を発見し解決する力、グループワーク、プレゼンテーションなどのスキルを学修します。総合心理学を実践的に生かすことができる学生を育成します。

社会・文化

コミュニティワーク、多文化コミュニケーション、法と倫理などの領域の専門的知識を学修します。フィールドワークや行動観察法、会話の分析などを用い、質的、量的なデータを扱った研究ができる学生を育成します。

特殊講義

国際的な心理学の実践や研究の中で使える英語運用能力の学修に加え、最先端の心理学に関するトピックスについて学修します。激しく変動するグローバル社会の中で活躍できる学生を育成します。

学びの特色

実践的な学びを通じて、課題解決力を身に付ける

〈実践知教育〉アクティブラーニングで実践知を養う

学生自らが課題を発見し、研究を通じてその解決に取り組み、論文作成や発表・議論へとつなげるプロジェクト型の学びを実施します。体系的なデータサイエンスの修得や、充実した環境を活用した研究の実践に加え、地域・企業・臨床現場と連携したフィールドワークを通じて、研究と現場を結びつける深い理解を伴う実践知を養います。



〈国際的な心理学教育〉英語運用能力を高めグローバルな視野を身に付ける

英語による専門科目を開講し、グローバルな心理学の知識に触れるとともに、国際交流を体験する機会を提供します。プロジェクト発信型英語プログラムでは、学生が興味を持つテーマについて、世界中から情報を収集し、リサーチやディスカッションを行った上で、その成果を英語で発信します。これらの国際的な心理学教育を通じて、プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力を磨き、グローバルな視野を養います。



〈心理臨床実践教育〉実践・実習を通じて心理学のスペシャリストを目指す

臨床心理学の基礎知識を学ぶとともに、実習を通じて対人援助の実践方法を学びます。具体的には、対人援助の領域で活躍されている方々との対話を通じて、臨床実践のあり方を学び、適性を知るとともに、カウンセリング面接・グループ面接・認知行動療法・家族療法などのロールプレイで具体的な技法や知識を学びます。

〈卒業研究〉体系的に学びを積み重ね、集大成として卒業研究に取り組む

学生は全員、自身の設定した研究テーマについて、担当教員の指導のもと論文型または探究型の卒業研究に取り組めます。卒業研究を通じて、知識・情報処理能力・論理的思考力・判断力・表現力を鍛え、それらを総合的に使うことができる能力を養います。

[2025年度卒業論文テーマ一覧（総合心理学部一部抜粋）]

- 音楽聴取の与える心理的影響―被災地における心理的支援の検討―
- 子ども食堂におけるスタッフと参加者の関係性―スタッフの視点から相互主体性と手がかりに着目して―
- 自伝的記憶の内容が自己肯定感へ与える影響―インタビュー法を用いて―
- 自動運転車両における事故時の量刑判断と原因帰属―運転者の注意状態と自動運転レベルが与える影響―
- 女性起業家リーダーシップの構造―日本と米国在住の起業家の質的分析によるモデル化―
- 食行動異常がメディアリテラシーに与える影響―ボディイメージを媒介して―
- 正直な顔は魅力的か―逆相関法を用いた“good is beautiful”ステレオタイプの検討―
- 足浴・温泉VR動画視聴とリラクゼーションの関連性：心拍変動と気分変化に着目して
- 大学生が認知する親の養育スタイルと自己制御能力の関連
- 日韓における若年層の献血行動とその文化的背景―TEMによる献血プロセスの比較検討―
- 認知的方略と誇大広告への反応との関連
- 不妊治療に取り組む女性の支援ニーズと心理専門職に求められる役割に関する質的検討―治療開始時から育児期に至るまでの経験の語りから―

[2026年度 教員・研究テーマ一覧]

岩壁 茂	心理療法のプロセスと効果の研究、心理療法の統合、感情、臨床家の訓練と職業的成長 心理療法と文化・社会
宇都宮 博	青年期から成人期にかけての人格発達と家族・社会関係
大石 衛晴	言語を理解している間の脳活動についての研究
岡本 直子	音楽の効用を心理的介入に最大限に活かすための日米共同研究、芸術療法、TFT（思考場療法）の実践および研究
神島 裕子	英米系の倫理学・政治哲学、正義論、ケイバビリティ・アプローチ
川野 健治	コミュニティづくり、予防・促進プログラムの開発と評価
北岡 明佳	錯視とだまし絵の実験心理学的研究
吉 沅洪	表現療法、こころのケアと文化、スクールカウンセリング
サトウ タツヤ	文化心理学、ものづくり質的研究、心理学史、復興／まちづくり心理学、メタバース不登校支援、宇宙心理学
佐藤 洋輔	LGBTQ+のウェルビーイング、偏見と差別、ポジティブ心理学に基づく予防的アプローチ
澤野 美智子	医療と家族に関する文化人類学
首藤 祐介	こころの健康増進、依存症への支援、精神障害を持つ人への認知行動療法／臨床行動分析に基づく支援
鈴木 華子	多様性、メンタルヘルスとウェルビーイング、予防的支援、世界のメンタルヘルス
諏訪 絵里子	愛着、発達障害のアセスメントと支援、異文化の理解、合理的配慮
高橋 康介	知覚、認識、行動、感情、およびその多様性に関する認知心理学研究
土田 宣明	実行機能とその加齢変化に関する実験的研究
賣 雪	メディア心理学およびオンラインメディアの効果研究とその応用
永井 聖剛	社会的コミュニケーションと認知、動作および身体と認知、動的シーンの知覚

中鹿 直樹	行動分析学に基づいた障害のある個人のQOL向上のための援助
中田 友貴	社会における心理学の研究評価と影響、AIを用いた質的研究の実施・分析手法の有効性の検討
野田 実希	ナラティブ・語り研究、職業人のメンタルヘルス、病いを抱える方への心理的支援、質的研究方法論
服部 雅史	推論・意思決定・問題解決・創造性・合理性の認知心理学
林 勇吾	高次認知（言語・記憶・学習・問題解決・創造性）やコミュニケーション（協同問題解決、集団意思決定）に関する実験心理学研究、AI・VRを用いた学習支援や認知モデリング、ヒューマンインタフェースに関する認知科学研究
増田 梨花	学校現場におけるピア・サポート、絵本と音楽を活用した臨床心理学的介入法
三田村 仰	カップセラピー、親への移行期の夫婦支援、認知行動療法の文脈的アプローチ
富口 幸治	発達障害・知的障害への包括的支援、非行臨床、精神医学など
村本 邦子	DV・虐待・性暴力など女性支援、災害・戦争など歴史のトラウマ、土地と文化に根差した土着心理学
村山 綾	対人過程、集団内過程、集団間過程に関する社会心理学的研究
森 知晴	行動経済学の応用（労働・教育・税金・保険・ギャンブル）
安田 裕子	生涯から始まるlifeサイクルにおける危機と回復のナラティブ研究、質的研究法TEA、豊かなライフ・キャリアの研究、司法面接における心理臨床的役割
矢藤 優子	乳幼児と養育者の行動発達研究、科学的根拠に基づく育児支援システム構築のための縦断調査と東アジア諸国間の比較研究
山岡 あゆち	マイノリティに対する偏見・スティグマ、キャリア形成、いじめ
山本 博樹	意味理解を支援する説明的教育心理学
若林 宏輔	社会を規定する法の人間的問題に対して心理学的にアプローチする研究

詳しくはこちら ▶



- 上記のカリキュラムは予定であり、変更となる場合があります。
- 学部の特設科目とは質的に異なる、幅広い分野の知識の修得を目指す科目を多数履修することができます。

科目についての詳細は [オンラインシラバス](#) [立命館](#) [検索](#)

外国語の選択

〔必修〕英語

グローバル化が進んでいる心理学分野において、英語が国際レベルの研究活動、研究交流、研究の主要語であることから英語専修にしています。

学びの特色

全国有数の規模を持つ実験・実習施設とアクティブラーニングを支える学習空間



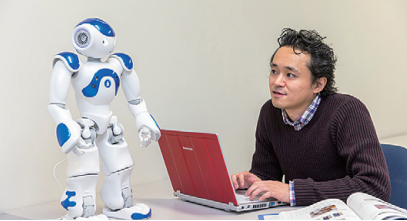
■ 動物行動実験室

ハトを使った動物心理学の研究を通じ、人間と人間以外の動物の心の共通性などを探ります。



■ 脳機能画像分析装置

近赤外分光法を用いて脳活動を調べる装置です。fMRIよりも自由度の高い実験が可能です。



■ NAO（人型ロボット）

人間の知的な振る舞いをプログラミングすることで、人間の心の動きについて理解を深めます。



■ 面接実習室

カウンセリングの実習やインタビュー調査、また箱庭セットによる心理療法の実習などを行います。



■ プレイルーム

おもちゃや砂場を配備し、主に子どもの心や行動を調べるための実験や観察を行います。



■ 生活行動実験室

キッチンや応接セットなどを配備し、日常生活における行動の特性や援助が必要な場面を探ります。

[大学院進学 一人間科学研究科]

社会の中に生きる心理学・人間科学の創造を通して、学術と社会の発展に貢献する人材を育成。

人間科学研究科は、基礎心理学から臨床心理、対人援助（福祉・教育・カウンセリングなど）まで幅広い研究領域を網羅する大学院として2018年に設置されました。全国随一の院生数と教員数を誇り、学術と実務の垣根を越えた、産学協同による研究と実践でさまざまな学びをサポートします。心の内だけでなく、人間を総合的に知るために分野を越えて学び、専門性をさらに深め、総合心理学部での学びをさらに発展させ追求していく環境が整っています。

特色ある多様な研究領域

人間科学に関する多様な研究により、院生が自らの学問的関心を中心に捉えて、さらに周辺領域へ融合・発展させることができるカリキュラムや研究機会を用意しています。

社会人院生在籍によるアカデミックとプロフェッショナルの融合

博士前期課程、後期課程共に社会人院生が在籍し、実務からの課題解決研究とアカデミックな視点からの研究が並存し、学界と実社会の融合を起こします。

国家資格『公認心理師』の認定プログラムに対応

医療保健領域から教育、福祉、産業、司法、被災者支援、社会福祉と幅広い領域における課題に対応する公認心理師。人間科学研究科では認定プログラムに対応するとともに、アカデミックな角度からのアプローチも行います。

【公認心理師に求められるもの】

ー公認心理師には、知識以外に技能・態度の修得が求められていますー

▶心理査定、心理面接、地域援助、教育研究という従来の職務に加えて、状況を適切に把握し、事実を的確にアセスメントし応じた支援を行うことができる技能・態度

▶多次元にわたり、交錯する要因に関わる困難な問題の増加ー多職種との共同体制

▶良いチームワークとフットワークの軽いアウトリーチ

※公認心理師試験受験資格取得は、大学・大学院において省令で定める科目を履修し、卒業・修了する必要があります。

【修了後の進路】

現代・未来を見据えながら、社会から求められる各領域のスペシャリストを養成し、分野を問わず、さまざまな場面での活躍が期待されます。

進路例			
●臨床心理士	●産業カウンセラー	●スクールカウンセラー	
●警察官	●司法	●福祉	
●教育	●医療	●高齢者介護	
●障害者援助	●看護師	●保健師	など

卒業生からのメッセージ

「環境」による不利益をなくしたい 誰もが自らの意思でキャリアを築ける社会へ

厚生労働省を志望した理由は、大学での学びを通じて「環境」が個人に与える影響の大きさを痛感し、個人の力ではどうにもできない環境によって不利益を被る現状に強い憤りを覚えたからです。そのことから、家庭環境などに左右されず、誰もが自らの意志でキャリアを築ける社会を創りたいと強く思うようになりました。国家公務員として労働行政の制度改革に携わり、世代を超えて国民の「働く」を支えることに使命感を持って取り組んでいます。

司法面接の研究と論理的な探求 地道な分析が導いた納得の成果

大学4年間で印象に残っているのは、卒業論文の執筆活動です。「体験の有無が五感情報の発言数に与える影響ー司法面接的手法による聴取ー」というテーマを掲げ、取り調べ場面での虚偽自白を暴く手法を検証しました。地道な実験と分析の連続でしたが、充実した発表の機会や、先輩・同期との議論、手厚いサポート体制のおかげで納得のいく論文を書き上げることができました。この時、物事の原理を細分化・理論化して捉えようとした経験は、現在の複雑な行政課題に向き合う上での確固たる基盤となっています。

議論と調整で磨かれた「集約する力」 多種多様な意見を一つの方向性へ導く

現在の業務では、制度運用にあたって関係機関との連携が不可欠です。大学時代に発表や議論を繰り返して習得した「必要な情報を分かりやすく他者に伝える力」や、他者との議論で得た「さまざまな意見を集約して方向性を絞っていく感覚」は、現在の調整業務において大いに役立っています。将来は、どのような環境に置かれた人も見落とさない、視野の広い行政官になることが目標です。



厚生労働省

人材開発統括官付若年者・キャリア形成支援担当参事官室
(総合心理学部 総合心理学科 2025年卒業)

2021年、総合心理学部に入学。司法犯罪心理学を専攻し、経済的困窮が犯罪の動機となるケースを知る。2025年、国民の経済的・職業的安定に資する政策の企画立案を志して厚生労働省に入省。現在は、若年者の就職支援や教育訓練給付金の講座指定等を担当するほか、関係機関との調整業務に従事している。

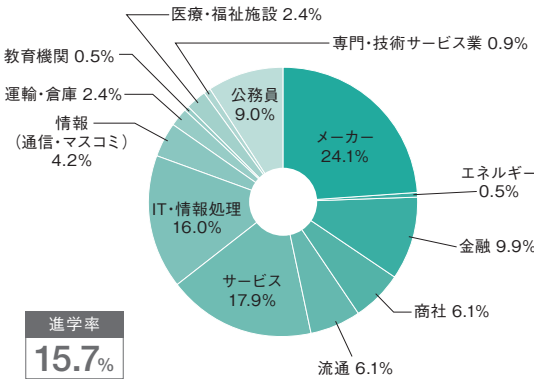
専門性と多様性が交差する学び舎 「なぜ」を突き詰める姿勢が未来を創る

立命館大学の素晴らしいのは、心理学を独立した学問として学部を設置している希少性と、各分野の専門家が揃う圧倒的な層の厚さにあります。また、就職活動においては、キャリアセンターの職員の方々のサポートが手厚く、自分ごとのように熱心に相談に応じてくださるなど、学生のチャレンジを全力で後押しする環境があることです。受験生の皆さんには、興味の有無に関わらず、さまざまなものに触れてみてほしいです。「知る」ということは「選択肢を広げる」ことに繋がります。皆さんが納得のいく進路を決断できることを、心から願っています。

進路・就職状況

多角的かつ総合的に人間を理解し、グローバル化する現代社会で活躍する人材を育成。
「社会で生きる心理学」を身に付け、個性と多様性を尊重しつつ他者と協働し、問題解決に貢献する人材を養成します。

[2024年度卒業生 業種別進路決定状況]



[2024年度卒業生 進路・就職先一例]

(株) アシックス	東レ (株)	三井住友海上火災保険 (株)
伊藤忠テクノソリューションズ (株)	日産自動車 (株)	(株) 三井住友銀行
(株) NTTドコモ	NISSHA (株)	(株) 三菱UFJ銀行
(株) コーエーテックモ ホールディングス	日鉄物産 (株)	(株) 村田製作所
サイボウズ (株)	(株) ニトリ	ライオン (株)
(株) ジェイアール西日本伊勢丹	パナソニック (株)	国家公務員総合職 (厚生労働省)
JCOM (株)	(株) 日立製作所	国家公務員一般職 (財務省)
ゼブラ (株)	富士通 (株)	法務省専門職員 (矯正心理・法務教官・ 保護観察官)
大同生命保険 (株)	(株) 船井総合研究所	
大和証券グループ	(株) ベイカレント・ コンサルティング	
高砂香料工業 (株)	(株) ベネッセコーポレーション	東京都
(株) 竹中工務店	みずほリサーチ & テクノロジーズ (株)	大阪府
東京海上日動火災保険 (株)		京都市役所

◎円グラフの数値は小数点以下第二位を四捨五入により算出。◎進学率＝|進学者 / (就職者＋進学者)|。ただし、進学者には大学院だけでなくその他の進学者を含む。◎端数処理の関係で100%にならない場合があります。